

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器をお求め
いただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

も く じ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●器具の設置	8
●使用手順	9
●使用時のご注意	13
●日常の点検・手入れ	16
●故障・異常の見分け方と処置方法	18
●特長	20
●寸法図と仕様一覧表	21
●別売部品のご紹介	22
●本製品と快適な暮らしのために	22

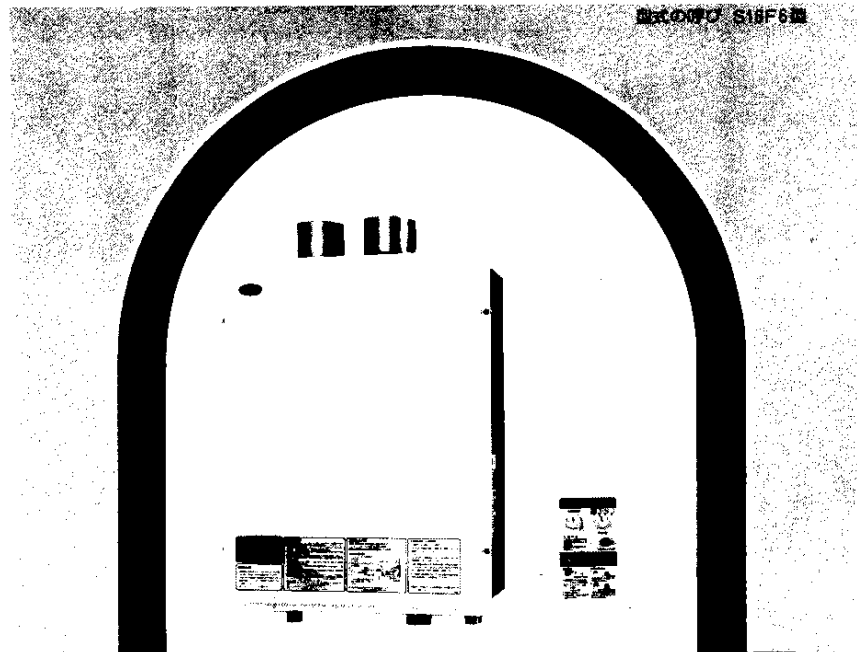


ガス湯沸器

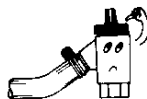
取扱説明書

33-679型

保証書付
型式の呼び S18F6機



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



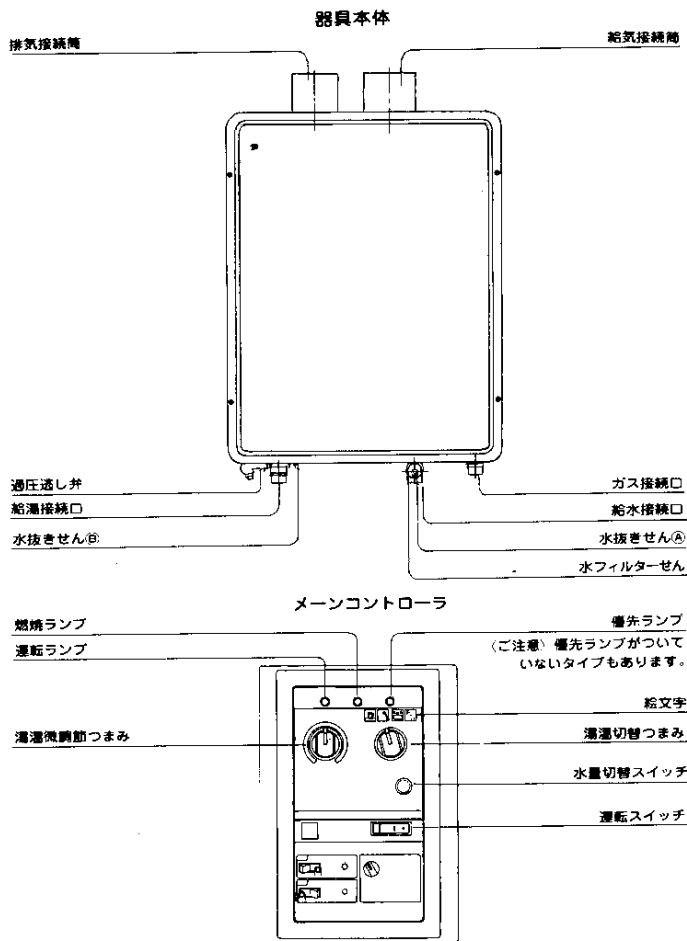
使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

各部の名称



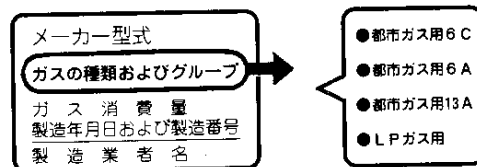
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。

特に注意していただきたいこと②

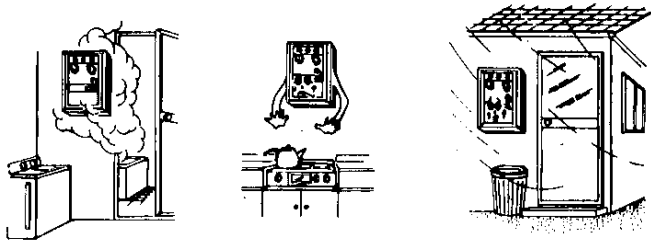
使用場所についてのご注意

●器具

1. 屋内設置専用の器具です。屋外には絶対設置しないでください。
2. 特殊薬品(アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等)やその蒸気がかからない所に設置してください。
3. ガスレンジやコンロなどの燃焼器具の上には設置しないでください。
4. 家具、壁その他の可燃材から十分離れている場所で使用してください。
5. 詳しくは「工事説明書」を参照してください。

●メインコントローラ

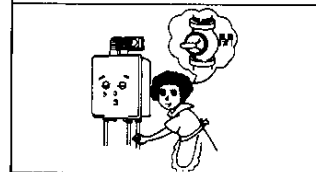
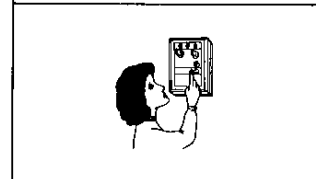
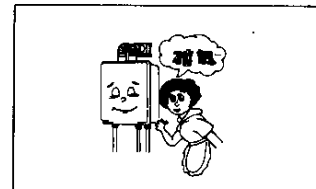
1. 湯気、湿気のないところに設置してください。
2. ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所への設置はさけてください。
3. 屋外に設置しないでください。
4. 詳しくは「工事説明書」を参照してください。



特に注意していただきたいこと③

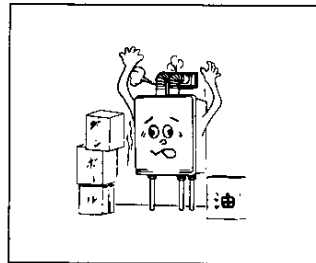
ガス漏れ予防

- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないか時々確かめてください。
- 使用後は必ずメインコントローラの運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの前には、万一の事故がないように必ずガス元せんを閉めてください。



火災予防

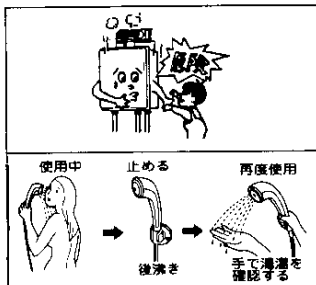
- 器具の上やそばに燃えやすいもの(洗たくもの、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないでください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしてしないでください。



特に注意していただきたいこと④

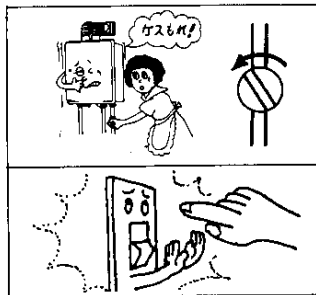
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体と排気トップは熱くなります。手を触れたりしないでください。
- シャワーをご使用后、すぐに再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかけて、手で湯温を確認してからお使いください。
器具の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちにご使用を中止し、ガス元せんを閉じ、絶対に使用しないでください。
- 万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）しないでください。



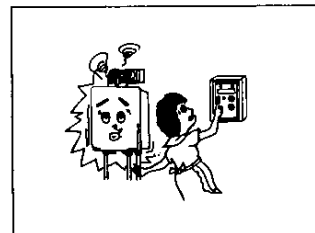
凍結についてのご注意

- 厳寒期には器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は凍結を防止する処置を必ずおこなってください。〔凍結防止処置については14ページを参照〕
- 凍結したときは
 - 1 器具や配管が、破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。
 - 2 凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
凍結が溶けた後、水もれがないことを確認の上ご使用ください。

特に注意していただきたいこと⑤

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については18ページをお読みください。〕

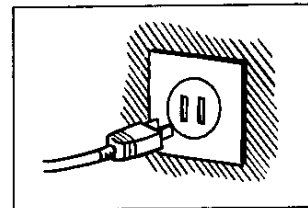


日常の点検手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。
〔点検、手入れの方法については16ページをお読みください。〕

落雷について

- 落雷のおそれのあるときは、使用を中止して電源プラグを抜いてください。また、電源が直接分電盤から配線されている時は、その配線のブレーカーを切ってください。



器具の設置

設置上のご注意

- 正しく設置されているかどうか、工事説明書を参照の上お客様自身でご確認してください。

給水・給湯・電気の接続

- 給水・給湯、電気の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

ガス管の接続

- 鉄管接続になっていますので、大阪ガスにご相談ください。

アースの接続

- 水道管およびガス管にはアース接続しないでください。

給排気トップ・給排気管の接続

- 給排気トップ、給排気管の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

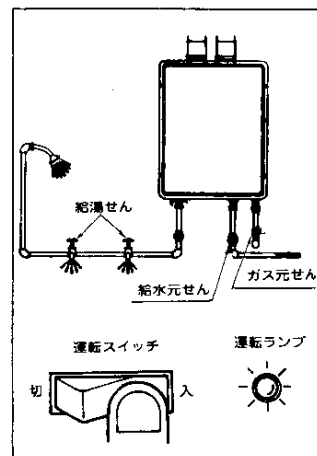
使用手順

●はじめに

- ①給水元せんを開いてください。
- ②給湯せんを開いてください。
〈ご注意〉給湯せんから水の出ることを確かめてください。
確かめた後給湯せんをしめてください。
- ③電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりと差し込んでください。

●点火準備

- ①ガスの元せんを全開にしてください。
メインコントローラの運転スイッチを入りにしてください。
- ②運転ランプが点灯するのを確かめてください。



●優先ランプについてのご注意

- 切替ランプは別売のシャワーコントローラの切替スイッチ操作により点・消灯します。
これは湯温調節機能の切替表示用です。
別売のシャワーコントローラを取付けられていない場合は、優先ランプが点灯します。
※優先ランプのついていないタイプもあります。

●給湯

- ①給湯せんを開けますと自動的にメインバーナーに着火し、燃焼ランプが点灯してお湯が出ます。
- ②約15秒待っても着火しなかったときは燃焼ランプが点滅しますので、給湯せんを開けてメインコントローラの運転スイッチを切り再度運転スイッチを入れてください。
- ③長期不在のあとや朝一番など、ガス配管中に空気が残っていて、一回で着火しない場合や、万一途中でバーナーの炎が消えた場合燃焼ランプが点滅します。上記と同様の操作をしてください。
〈ご注意〉使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでお湯はできません。

使用手順②

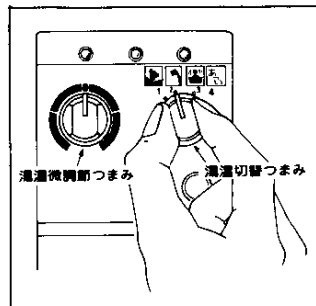
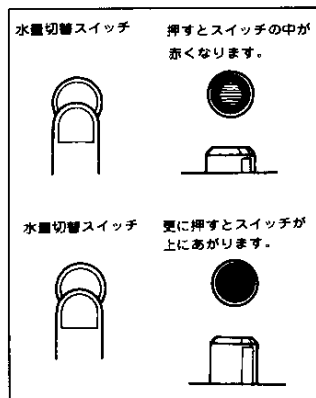
●水量切替操作

- ①この器具には水量を約6ℓ/分と約12ℓ/分に切替えられる機能がついています。
- ②メインコントローラに設けられた水量切替スイッチを押すと約6ℓ/分、更にスイッチを押しますとスイッチが上にあがり約12ℓ/分になります。
- ③メインバーナに火がついていない時は切替装置が働かきません。その為設定を12ℓ/分にしているも火がつくまでは約6ℓ/分の流量でできます。(途中で流量が変化する様に感じられるかもしれませんが故障ではありません。)

〈ご注意〉器具を運転しないで洗濯等のため水だけを使用される時は約6ℓ/分しかできません。

●湯温、湯量調節

- ①湯温と絵文字の関係は下表のようになってます。お使いの際は湯温切替つまみをお使いになりたい湯温の絵文字にセットしてください。



絵文字	湯温(℃)	用途	絵文字	湯温(℃)	用途
1	約 35	洗濯など雑用	3	約 48	風呂の落とし込用
2	約 42	シャワー用	4	約 76	風呂の差し湯用

〈ご注意〉この湯温は湯温微調節つまみ中央のときの目安の温度です。ガス種および季節により多少変化することがあります。

使用手順③

- ②湯温切替つまみでセットされた湯温をさらに微調節されるときは、湯温微調節つまみで行なって下さい。

右に回すと……高温に 約±4℃の微調節ができます。
左に回すと……低温に

- 〈ご注意〉配管が長い場合は、調節したお湯の流れてくるのが遅れます。
- ③ご使用になる湯温にセットされたあとは、給湯せんを開けて湯を出して下さい。
- 湯量の調節は水量切替スイッチの操作で行うと便利です。もちろん水道を使用される要領で給湯せんを絞っても湯量は変えられます。この時約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっていきます。

〈ご注意〉

- ①給湯せんで湯量を調節しますと水の中の空気が分離して、気ほうとなり湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配ありません。
 - ②季節による水温の変化、湯量によって湯温コントロールからはずれる範囲があります。
- 夏期、水温が30℃近くなりますと湯温切替つまみを「1 」に湯温微調節つまみを「低」にセットしても湯量が少ない場合、湯温が高くなります。このような場合は水量切替で12ℓ/分にセットし給湯せんを全開で使用して下さい。
- また逆に冬期では「4 」の位置にしても高温が得られない場合があります。このような場合は、水量切替で6ℓ/分にセットしてお使いください。

使用手順④

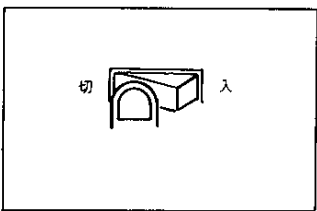
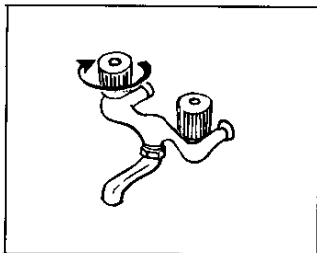
●消火

①給湯せんをしめすと、お湯が止まり、自動的にメインバーナーの炎が消え燃焼ランプが消灯します。つきにお使いになるときは、給湯せんを開くだけでメインバーナーに着火してお湯が出てきます。

〈ご注意〉4分以上間隔をおいてお使いになると、お湯が出るのに少し時間がかかります。

②給湯せんをしめた後、および運転スイッチを切られても器具内の排気を追い出すため送風機がしばらく(約4分間)まわっていますが異常ではありません。

③器具をご使用にならない時は、メインコントローラの運転スイッチを切っておいてください。



●停電時の処置

停電時は使用できませんので給湯せんを開けてください。再通電したときは9ページの「点火」に従って操作してください。(給湯せんを開めわすれたり運転スイッチを切りわすれても再通電すれば自動的に再運転します。)

●断水の場合

給湯せんを開けて、運転スイッチを切ってください。

〈ご注意〉再通水され使用するときは、給湯せんから水の出ることを確かめてから運転スイッチを入れてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置

●ご使用中に自動的に燃焼ランプが点滅したときは何らかの異常ですので、次の方法並びに18ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

●バーナー安全装置

ご使用中にバーナーの炎が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まり、メインコントローラの燃焼ランプが点滅します。給湯せんを開めメインコントローラの運転スイッチを切り、しばらく(約1分)待ってから、再度メインコントローラの運転スイッチを入れ給湯せんを開けてください。

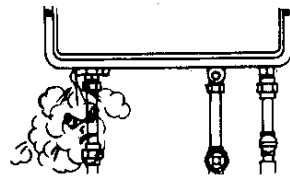
●空だき時および過熱防止安全装置

ご使用中、器具および熱交換器の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて、自動的にガスが止まりメインコントローラの燃焼ランプが点滅します。これらの安全装置が働いたときは、再点火操作をされても、燃焼ランプが点滅し異常を知らせます。

このようなときには、メインコントローラの運転スイッチを切り、ガス元せんを閉じて、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

〈ご注意〉

これらの安全装置がはたらいたときは、器具の損傷を防ぐために過圧逃し弁から圧力を逃すことがあります。高温の蒸気が噴出しますのでご注意ください。



使用上のご注意

●飲料用、調理用としてお使いのとき

器具内に長時間たまった水は飲料用または調理用に用いないでください。

●使用後すぐに再度お使いになるとき

器具の後沸きによって一瞬熱い湯が出る場合がありますので、少し出してから手を触れるようにしてください。

使用時のご注意②

●給湯せんの同時使用について

給湯せんを同時使用しますと、湯量が多く流れすぎて、湯温のコントロールができなくなることがあります。

特に高温のお湯をお使いになっているときは、同時使用はさけてください。

シャワー使用中は、できるだけ同時使用をさけてください。

●水圧が下がったとき

この器具は、0.3kg/cm²以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.3kg/cm²以下にさがると、メインバーナーは消火しますが故障ではありません。

(給水元せんは全開にしてお使いください。)

凍結防止装置

●この器具には万一凍結防止処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために、低温作動ヒーターを組込んでいます。外気温度が下がると自動的に器具内を保温します。

●これは凍結予防のためのもので、外気温度が極端に低くなるような場合は効果がありませんので以下の処置をしてください。

〈ご注意〉器具内の水を抜くとき以外は絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くと低温作動ヒーターが作動しません。

1. 給湯せんから水を流し放しにする方法(一般的な凍結防止方法・特に外気温度が-5℃以下になるような場合)

●器具本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます。

●ガスの元せんを開め、運転スイッチを「切」にしてから、給湯せんより少量の水〔1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)、ただし寒さにより、流量が異なりますので特に寒い日は多めに〕を流してください。

また、流量が不安定なことがありますので念のため30分ぐらい後にもう一度、流量をご確認ください。

水を浴そうに流し込まれますと、一晩で浴槽半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。

使用時のご注意③

2. 器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合、気温が-5℃以下になるような場合)

●給水配管部分の凍結防止はできません。

次の手順で器具の水を抜いてください。

①メインコントローラの運転スイッチを切る。

②電源プラグを抜く。

③ガス元せんを閉める。

④給水元せんを開める。

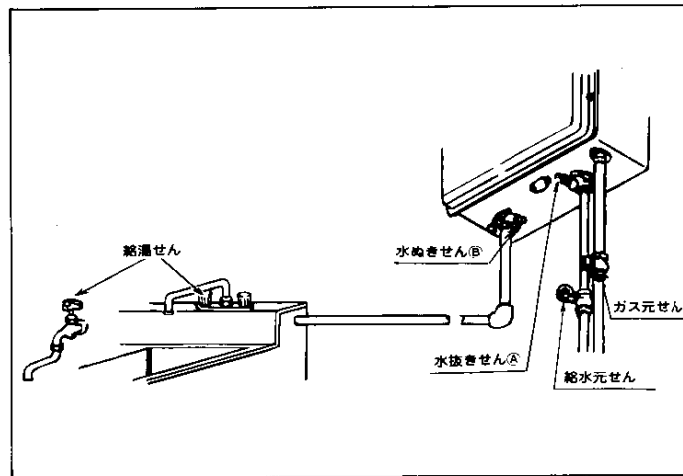
⑤すべての給湯せんを開く。

⑥水抜きせん④、⑤を左に回しゆるめる。

〈ご注意〉水抜きせん④、⑤と給湯せんは次にお使いになるときまで、そのままにしておいてください。

〈ご注意〉再度ご使用されるときは、水抜きせん④、⑤を開め給水元せんを開き、給湯せんから水が流れるのを確かめてからメインコントローラの運転スイッチを入れてください。

〈ご注意〉水抜き時水抜きせんから下に水が落ちないように容器等で排水を受けてください。(器具内の排水量は約600ccです)



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- お手入れはやけどをしないように器具がじゅうぶん冷えてからおこなってください。

点検

- 器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 給排気トップをふさいでいませんか？

定期点検について

- 器具はご使用にしようがなくとも、2～3年に1回ぐらい、バーナーや各部の作動が正常、かどうか点検するのが、安全と長期間ご使用いただく為のひけつです。
- お買い求めの販売店又は、もよりの大阪ガス支社に、点検・診断を依頼してください。

日常の点検・手入れ②

お手入れ

● 前板のそうじ

汚れは布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。

〈ご注意〉洗剤はのこらないようにふきとってください。

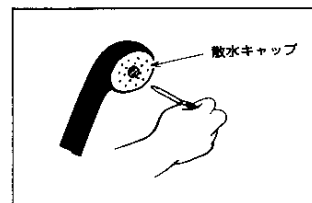
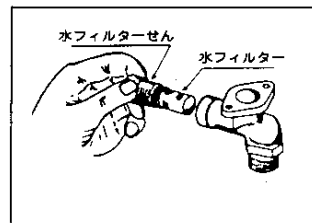
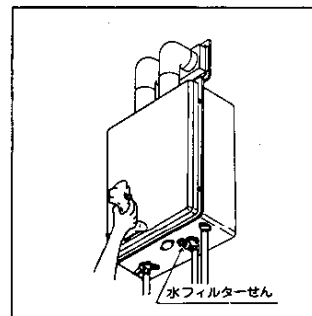
シンナーやベンジンなどでふかないでください。印刷がはげます。

● 水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんを閉め、水フィルターせんを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。

● シャワーヘッドのそうじ

シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外してそうじしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゃろぶんな点検をお願いします。

現象	原因					処置方法	参照ページ
	給湯せんの開きがふじゅうぶん	配管内に空気が残っている	給水元せんの開きがふじゅうぶん	水圧が適切でない	水フィルターのつまり		
燃焼ランプが点滅する						燃焼ランプが点滅する	
寒い日に給湯気トップから湯気が出る						燃焼ランプが点滅する	
使用中湯温が極端に変動する						燃焼ランプが点滅する	
高温の湯が出ない						燃焼ランプが点滅する	
消火しやすい燃焼ランプが点滅する						燃焼ランプが点滅する	
使用中に消火した						燃焼ランプが点滅する	
着火しにくい燃焼ランプが点滅する						燃焼ランプが点滅する	
給湯せんの開いても着火しない						燃焼ランプが点滅する	
ガス元せんの開きがふじゅうぶん						運転スイッチを切ってからガス元せんを全開にする	9
配管内に空気が残っている						ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用	9
給水元せんの開きがふじゅうぶん	○	○				給湯せんを一たん閉じてから給水せんを全開にする	—
水圧が適切でない	低い	○	○		○	点検又は点検依頼する(他に原因がないとき)	—
	高い						—
水フィルターのつまり	○	○			○	つまり除去又は依頼する	17
断水している	○	○				使用を一たん中止する	12
凍結している	○	○				解凍するまで使用を中止する	6
バーナー炎口つまり、ノズル空気口つまり						点検を依頼する	—
湯温調節が適切でない					○	「使用方法(湯温・湯量調節)」参照	10
給湯せんの開き不足	○	○			○	給湯せんを全開にする	—
安全装置が作動						点検を依頼する(度々作動する場合)	13
水ガバナー、水流スイッチの故障	○				○	点検・修理・部品交換を依頼する(他に原因がないとき)	—
電気部品の故障	○				○	点検を依頼する	—

処置や原因がわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 18ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

- (1) 品名……(ガス湯沸器)
- (2) 品番……器具正面に貼付してあります。

(例)

(N)33-679(U)

大阪ガス株式会社 **03**

- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

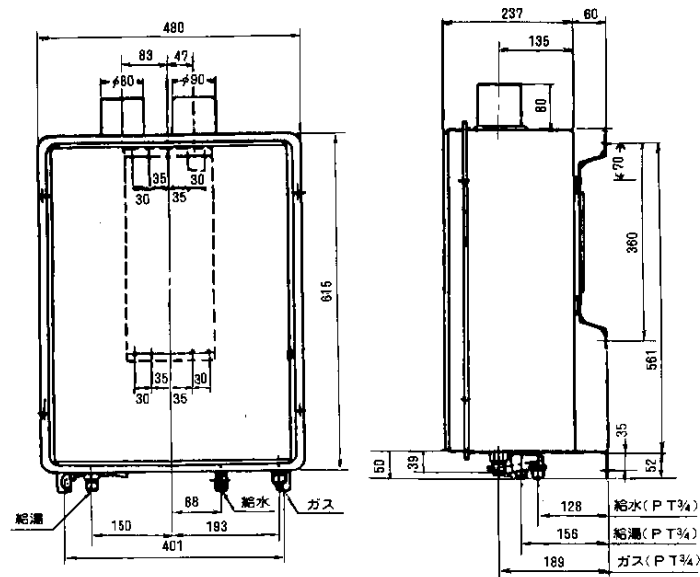
保証書について

- この器具には保証書がついています。このガス湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 電子コントロール方式で出湯温度を感知して自動的にガス量を制御しますから季節により水温が変化しても出湯温度は一定です。
- 2 湯温調節はメインコントローラつまみをセット(約31~80℃)するだけで、夏場のシャワーや高温の湯を自由に選択できます。
- 3 ガス・お湯の無駄が少ない省エネルギータイプです。
 - 出湯能力は16.5号~3.2号まで自動的に調節できます。従って使用用途に応じて適温適量のお湯が得られます。
 - 給湯せんを開くだけでメインバーナーに着火するパイロットレスのダイレクト着火方式ですからパイロットガスが不要で経済的です。
- 4 室内の空気を使用しない強制給排気方式ですから、お部屋の空気を使わず、清潔です。
- 5 比較的水圧の低い地域でも、低温から高温のお湯が得られます。
- 6 通水系路に水用電磁弁を組み込んでおり、メインコントローラの水量切替ボタンを押すだけで約12ℓ/分と約6ℓ/分に切替ることができます。この為給湯栓で湯量を調整する様なわずらわしさがなくなりました。
- 7 シャワーコントローラ(別売部品)を浴室内に設置すれば、浴室内から湯温調節ができ、より快適なシャワーが楽しめます。

寸法図と仕様一覧表

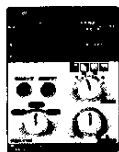


種 号		33-679	
		都市ガス6C	都市ガス13A
項 目		都市ガス6C	都市ガス13A
最大ガス消費量(Kcal/h)		31,000	31,000
設 置 方 式		屋内設置(壁掛式)	
外 形 寸 法(mm)		高さ615×幅480×奥行237	
重 量(kg)		28	
接 続	ガ ス	20A(P T ¾B)	
	給 水	20A(P T ¾B)	
	給 湯	20A(P T ¾B)	
	電 気	AC100V	
電 気 消 費 量(W)		81(低温ヒーター作動70)	
点 火 方 式		AC連続スパーク点火・ダイレクト着火	
必要使用水圧(kgf/cm ²)		0.3	
出湯量(水温+25℃)(ℓ/min)		(16.5)(湯水混合水せんで混合した時)	

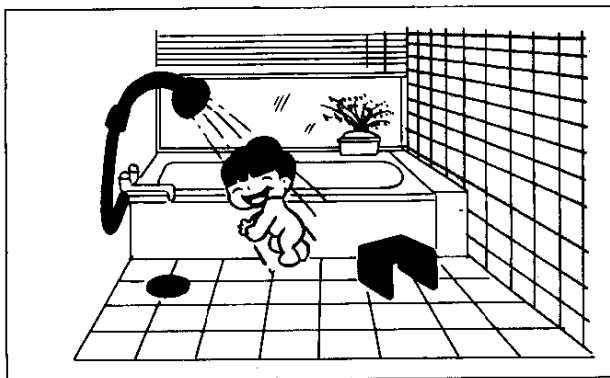
別売部品のご紹介

シャワーコントローラ(38-678型)

- 浴室内からもお湯の温度が調節できます。



本製品と快適なくらしのために



年中、快適に風呂給湯と、シャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

カスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
岡支社	☎657 大阪市西区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎668 高槻市藤の里3番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎662 西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	☎678 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内0728(82)1131
京阪支社	☎673 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(578)5231
京都支社	☎604 京都市中央区烏丸御池梅屋町358	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	☎675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1601
豊岡支社	☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
海陽支社	☎625 島津市追分町字茨原680の1	☎島津0775(62)5311
彦根支社	☎522 彦根市大東町9番41号	☎彦根0749(22)3131
長浜営業所	☎528 長浜市南鳥居町3番4号	☎長浜07495(2)7771

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社